

(令和5)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市市々)児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児		小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中学生	大学生			大人					
子ども育成機能	(1) 工作デー	2	0	14	16	1	0	0	0	0	0	0	0	31	3月の春休み期間中に申込をとり、2日間アイロンビーズ工作を实地。	子どもたちは集中して取り組めた。申込制だったが参加者の半分は自由来館者だったので、来年度は年度はじめに実施し、自由来館の利用に繋げたい。
	(2) エコ活動	12		10	101	1	0	0	2	0	0	0	114	環境問題を意識し、自分たちができるエコ活動をする。	ゴミの分別、公園清掃、ペットボトルキャップ遊びなどを通して子どもたちにエコの意識を高めることができた7月にエコまちステーションの方に来ていただき賞味期限について学んだ。今後もエコに関心を持てるようにしたい。	
	(3) 避難訓練	12	0	0	228	0	4	0	9	0	0	0	239	火事や地震、台風などに対する避難訓練や防犯訓練を毎月1回行う。	児童館で火災、地震、台風に遭遇した時の避難の仕方を、子どもたちと職員間で確認することができた。12月の避難訓練では公園の木が燃えている設定で西勧修寺消防出張所の消防士の方から、バケツリレーで火を消す体験や、火事になった時の避難の仕方を学んだ。8月の子ども防犯教室では京都府山科警察署生活安全課のスクールサポーターの方から登下校中に不審者に遭遇した時の身の守り方などを学ぶことができた。	
	(3) 子ども交通安全教室	1	0	2	43	0	4	0	2	0	0	0	51	安全な道路の歩き方や横断歩道の渡り方や信号機の点滅時の対応、また、ヘルメットの大切さを学ぶ。	山科警察署交通課の方から横断歩道の渡り方や信号が点滅した時の対応、自転車に乗るときのルールや、何故ヘルメットが必要かというお話をいただいた。子どもたちからの意見も聞きながらみんなで一緒に考えることができた。	
	(3) ひまわりまつり実行委員会	5	0	10	0	4	2	0	0	0	0	0	16	夏休み期間にひまわりまつりのコーナー企画と準備物の作成をした。当日の司会進行、コーナーの準備と運営、後片付けをする。	コーナー企画から準備までみんなで相談しながら熱心に取り組んだ。当日はスタッフが司会進行をしたことで子どもたちの自信につながった。	
	(3) 防犯教室・訓練	2	0	8	76	0	3	0	5	0	0	0	92	1階と2階に分かれて同時進行で行う。職員は1階(玄関)で不審者対応、子どもは2階で、おはしもてやいかのおすしの話を聞き体験をする。	職員は玄関で不審者の対応と110番の仕方、護身術の実技訓練をした。どの職員もできるように今後は順番に取り組みたい。子ども対応は、ふざけている子どもがいたため、事前にしっかり話をしていくようにする。	
	(3) こどもまつり実行委員会	6	0	8	6	10	0	0	0	0	0	0	24	こどもまつりのコーナー企画と準備物の作成および、当日の司会進行、コーナーの準備と運営、後片付けをする。	当日の司会進行は緊張しながらも進めることができた。地域の方や保護者と協力しながら遊びコーナーやお店コーナーの運営ができ、喜びや自信に繋がった。	
	(3) クリスマス会	1	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	19	申込制でクリスマス会実行委員の子どもたちによるハンドベルやみんなあそびをして楽しむ。	クリスマス会実行委員によるハンドベルで雰囲気を作り、次の準備をしている間も実行委員によるクイズで間を持たせたことで待っている子ども退屈せず、時間いっぱい楽しむことができた。当日、欠席も多く参加者は少なかったがとても盛り上がった。アンケートの結果を来年度に繋げたい。	
	(3) クリスマス会実行委員会	3	0	2	14	0	0	0	0	0	0	0	16	クリスマス会に向けて企画を考え、準備やハンドベルや司会の練習をする。クリスマス会当日は司会進行をする。	クリスマス会で行うハンドベルやゲームの進め方の練習を熱心に取り組んだ。当日はクリスマス実行委員が司会進行し盛り上げることができた。また、子どもたちの自信につながった。	
	(3) 新春まつり実行委員会	3	0	8	4	2	0	0	0	0	0	0	14	新春まつりで飾る装飾品の作成をする。豚汁野菜のカットなどの準備をし、当日の司会進行をする	豚汁の材料を準備する。野菜を洗い、皮をむきや切る作業をみんなで協力し進めることができた。当日の司会進行も子どもたちは意欲的に取り組むことができた。	
(4) 卓球クラブ	11	2	25	29	5	7	0	1	0	0	11	80	月に1回実施。地域の方に卓球を指導していただく。	地域の方の指導やアドバイスにより上達してきた。また、多世代交流の場となった。		

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
子ども育成機能	(4) なわとびクラブ	24	0	9	156	3	1	0	0	0	0	0	0	169	前跳びからはじめ、後ろ跳び、あや跳び、二重跳びと段階を踏んでいく。検定カードに添って、自身の目標級を練習後、検定をして昇級を目指す。	昨年度と同じメンバーは続きから始めたので、どんどん難しくなっていたが諦めず挑戦していた。他のメンバーも何度も練習し合格するたび自信に繋がっていた。後半は大縄を取り入れた。子ども同士でタイミングやコツを伝えることで一体感が生まれた。夏場は熱中症のことを踏まえて実施の方法を考えたい。
	(4) きりえクラブ	24	0	38	75	0	0	0	0	0	0	0	0	113	カッターの持ち方・使い方や使用時の注意点を確認しながら、線や円といった基本の形から練習し、様々な絵柄に取り組み。	練習を重ねるごとに少しずつではあるが、技術が上達していった。登録者が少なかったので、次年度は登録者数を増やすため方法を考えることも視野に入れて考えたい。
	(4) ハンドメイドクラブ	28	0	38	75	0	0	0	0	0	0	0	0	113	初回にメンバーでどんな工作がしたいかを話し合い、毎月の工作を取り組む。	プラバン作りから始め、マグネット、ランプシェード、ビーズプレスレットなど難しいものに挑戦した。完成に近づくにつれうれしさが増していた。作業に個人差があるため次年度は内容や進め方を考える。
	(5) 中庭の畑づくり	3	3	3	11	0	8	0	3	0	0	0	0	28	地域の方の協力を得て、中庭に畑を耕した。5月に玉ねぎの収穫。6月にさつまいもの苗を植えて、10月に収穫。	土を耕し、たまねぎやさつまいもの苗植え、収穫という栽培の喜びを体験することができた。また、地域の方と子どもたちの交流の場になった。幼児クラブの親子さんも芋ほりの体験は初めてと喜ばれた。次年度は子どもたちに役割のひとつとして考えたい。
	(5) 科学実験会	4	0	38	16	4	0	0	0	0	23	0	0	81	京都薬科大学のボランティアサークルの学生が身近なもので出来る実験を企画して実施する。	参加者の声や広報などで子どもたちの参加が増えた。実験会を毎回楽しみにし、実験の不思議な変化を学んだ。学生も毎回同じメンバーの方が来られることが多くなり子どもたちも気軽に質問ができるようになった。次年度は参加したことがない子どもたちも参加できるよう参加の定員を増やす方向で考えたい。
	(7) 中学生タイム	随時	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10	17:00以降、遊戯室で卓球をしたり、おしゃべり、勉強、本読みなどをして過ごす。	学童クラブOBの中学生がお友達を連れて遊びに来てくれたことで児童館を知らなかった中学生に知ってもらうことができた。今後に繋げていきたい。
	(10) やんちゃワールド 2023	1	0	4	11	0	0	0	0	0	0	0	1	16	京都橋大学の体育館に醍醐・山科区の児童館が集まり、様々なあそびのコーナーを催す。	様々なあそびのコーナーを楽しむことができた。また、他館の児童と交流する機会となった。今年度はコロナ感染拡大防止の為、学童クラブ児童のみの参加となる。
	合 計	142	17	220	841	30	26	10	21	0	23	12	1193			
子ども家庭支援活動	(9) エコキャップの回収	随時受付	0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	9	ペットボトルキャップの回収を通して、子どもや地域の方がエコに取組むきっかけとする。各家庭で集めてもらったペットボトルキャップを回収し、引き取りに来てもらう。	児童館がエコキャップの回収をすることにより子ども、保護者、地域の方にエコに対する関心を高めることができた。
	合 計		0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	11		
	子ども育成機能 合 計	142	17	220	841	30	29	10	27	0	23	12	1204			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市百々)児童館

活動名	実施回数	参 加 人 数											合計	内 容	成 果 と 課 題
		乳幼児		小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
		自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中学生	大学生	大人					
(1) ①うさねこクラブ	39	74	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	136	登録制のクラブで、満1歳から入会できる。体操・お名前呼び・手遊び・読み聞かせと季節の行事や工作などの企画をメインとして取り組んでいる。	季節行事のあそび、工作などを家庭ではできないあそびが喜ばれた。登録人数は3組と少なかったが、クラブ後も親子同士が仲良くされていた。次年度は口コミや広報などで登録人数を増やしたい。
(1) ①げんき一ず	31	21	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	39	登録制のクラブで、満1歳から入会できる。おはようの挨拶・体操・お名前呼びのあと、すべり台、トランポリン、大型布製つみき、ボールプールなどの大型遊具をつかって遊ぶ。最後はみんなであれあそびをする。	登録はあっても利用される日が少なかった。次年度は内容を少し考えたい。げんき一ずとは知らずに遊びに来られた方に体験をしてもらい次年度の登録に繋げていきたい。
(1) ①トコトコ	40	49	3	0	0	0	0	1	45	0	0	0	98	登録制のクラブで、0歳から入会できる。おはようの挨拶・お名前呼のあと乳幼児向けの遊具で自由に遊ぶ。最後にうたと読み聞かせをする。	ゆったりと乳幼児のおもちゃで遊び、保護者の交流の場となった。初めての方も増え、子育て講座やサロンなど他の行事への参加にも繋がった。眠くなり途中で帰られることもあったので、時間設定も今後考えていく。
(1) 学童と一緒に遊ぶ	1	4	0	3	0	1	0	3	0	2	0	0	13	夏休み期間に乳幼児の居場所作りのため、小学生と一緒に朝の歌、体操、手遊びやふれあい遊びをする。また、ボールプールや玉入れ、新聞遊びなどを小学生と乳幼児親子で楽しむ。最後に小学生が紙芝居を読む。	とても暑かったが、3組の親子と一緒に楽しめた。保護者からは小学生との交流がないので新鮮だった。暑くて家で過ごすことが多いため、久しぶりに思いっきり遊べたと感想を聞くことができた。小学生も初めては緊張していたが楽しかった、またやりたいと自信につながった。次年度はチラシやポスターなどの広報で参加者を増やしていきたい。
(1) ②子育てほっと広場	通年 (今年度75回 利用)	122	2	0	0	0	0	0	91	0	0	0	215	乳幼児親子がいつでも遊べる場所を提供。	児童館開館中はいつでも来館し、遊ぶことができるので乳幼児親子に気軽に利用して頂けた。学区以外の方や久しぶりに来館された方もありに保護者の気分転換の場となった。
(1) ②ほっとタイム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	平日の12時から1時の間、昼食持参の上食べることができる。	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
(1) ②みんなで絵本を楽しもう	1	11	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	30	絵本館の花田睦子氏を講師として招き、乳幼児さんや地域の方に絵本の読み聞かせや絵本の楽しさを教えてもらう。	実際に読み聞かせをしていただき、絵本の楽しさや子どもとの関わり方、小学生への読み聞かせの必要性を学ぶことができた。参加された子どもも大人も楽しむことができた。
(1) 救命講習	1	8	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	19	山科消防署の方に来ていただき、誤飲などいざという時の対応を体験と講義を実施。	いざという時の救命救急の話聞き、実際に人形を使用して胸骨圧迫やAEDの練習をした。誤飲時の対処法を親子で学ぶことができた。普段は別々のクラブに参加している保護者のため、終了後の遊びで交流を持たれていた。次年度も取組たいと思う。
合 計		289	5	3	0	1	1	1	249	0	0	0	277		
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数	
	乳児 幼児	30 79	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所				184	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			75 109	児童相談所 保健所 子ども支援センター(子どもはぐくみ室)		1	
	小1～3年(自由来館)	69	子ども支援センター(子どもはぐくみ室)				1				11	幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他		5	
	小1～3年(学童)	1	その他				10							6	
小4～6年(自由来館)	16	小学校、保育園、幼稚園、こども園													
小4～6年(学童)															
中学生															
高校生															
件数 計	195	-				195	-			195	-				

子ども家庭支援活動	基本活動	グループ名	構成人数	活動内容	育成・支援内容	成果と課題
		(4) 子育てグループを育成・支援する活動				
推進活動	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活動内容	成果と課題	
		「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換	随時受付	ゴミ袋を交換に来られたら、ゴミ袋と児童館の情報紙を渡す。	引き換えに来られる人はまだ少ないので乳幼児親子の新規来館者に声かけをしていきたい。	

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

	活動名	実施回数	主催	参加人数								連携団体	成果と課題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	合計			
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
地域福祉促進活動 基 本 活 動 (1)地域住民との交流を促進する活動	ブロックやんちゃワールド2023への参加	1	やんちゃワールド2023実行委員会	0	6	5	0	0	0		11	やんちゃワールド2023実行委員会	様々なあそびのコーナーを楽しむことができた。また、他館の児童と交流する機会となった。	
	京都やんちゃフェスタ2023「やんちゃんねる」への参加	1	京都やんちゃフェスタ2023実行委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	京都市内の児童館や各種機関	各家庭のスマホなどでやんちゃんねるを見ていただき、映像を楽しんでいた。また、家庭でもできる遊びや実験の情報なども提供できた。	
	ひまわりまつり	1	子育て支援連絡会	32	28	8	3	1	11	29	112	・まんいんじこども園 ・京都市立百々小学校 ・百々学区自治連合会 ・百々学区社会福祉協議会 ・百々学区民生児童委員協議会 ・百々学区民生児童委員協議会 ・少年補導委員会百々支部	子育て支援連絡会にひまわりまつりのご協力を依頼し、互いに連携、協力しあい、まつりを運営することが出来た。	
	どどじどうかんこどもまつり	1	こどもまつり実行委員会	45	55	44	50	3	8	112	317	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校PTA運営委員会 百々児童館学童クラブ保護者会 百々学区おやじの会 百々児童館	4年ぶりの開催と今年度は百々児童館が設立40周年のため「どどじどうかんこどもまつり40th anniversary-newworld」をテーマにあそびコーナーを展開したところ、子どもから大人までたくさんの来場者で大盛況だった。乳幼児コーナーがあることも好評だった。	
	新春まつり	1	新春まつり実行委員会	12	47	1	11	0	4	54	129	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校PTA運営委員会 百々児童館学童クラブ保護者会 百々学区おやじの会 百々児童館	昨年度はコロナ感染症拡大防止の為中止だったが、今年度は児童館と各強直団体が互いに連携・協力し合い、まつりを運営することができた。	
	子育て支援連絡会 子育て講座	1	百々児童館	11	0	0	0	0	0	19	30	・まんいんじこども園 ・京都市立百々小学校 ・百々学区自治連合会 ・百々学区社会福祉協議会 ・百々学区民生児童委員協議会 ・少年補導委員会百々支部	絵本館 花田睦子氏を講師として招き、「絵本をみんなで楽しもう」の講演会をした。当日は絵本の読み聞かせと絵本の楽しさや絵本を通して親子の関わり方を教えていただきました。	
	シニア卓球デー	44	地域住民	0	0	0	0	0	0	210	210	地域住民	児童館だよりやメンバーの呼びかけで新たな参加者が増えた。	
					0	0	0	0	0	0	0	0		
					0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		31	—	108	157	73	65	4	24	445	876			

	活動内容	活動人数				成果と課題
		中学生	大学生	大人	合計	
(2) ボランティア活動の推進	あそびのボランティア	0	2	0	2	京都橋大学の学生ボランティアに児童館の業務内容を知ってもらい、経験していただけた。参加できる日程の都合で、経験していただけなかったことも多くあったので、可能な限りいろんな経験を積んでいめるようスケジュールを組んでいきたい。 卓球クラブでは地域の方に行事ボランティアで来ていただき、子どもたちにご指導いただいた。 京都薬科大学の学生が科学実験を通して子どもたちと一緒に科学の楽しさや不思議を学んでいます。今後も継続していきたい。
	行事のボランティア	0	23	1	24	
	環境整備のボランティア	0	0	0	0	
	合計	0	25	1	26	
(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容				成果と課題
	百々学区自治連合会理事会	理事の一員として、百々地域の諸行事や様々な地域の問題に取り組む。				・理事会に出席することで地域の抱える問題や成果がわかったり、他団体との交流によりお互いの団体を理解し協力体制を深めることができた。 ・児童館の事業や課題を分かってもらえる場になった。
	まんいんじこども園	乳幼児行事、地域子育て支援ステーション事業などに協力いただく。				地域子育て支援ステーション事業でご協力いただき、地域の乳幼児親子との繋がりができた。
	百々小学校	児童館だよりの全校配布、運動会・学芸会・授業参観の見学・情報交換。				頻繁な情報交換や連携を密にすることができたが、連絡時間にずれがあり、情報共有が遅れることが課題。
	山階南小学校	毎月、児童館だよりを届けている。				今年度初めて子どもの情報交換を密にできた。
	山科中学校	毎月、児童館だよりを届けている。				繋がりを作ることができている。児童館に来る中学生の情報交換も出来ている。
	山科区はぐくみ室	児童館だよりの配布、百々学区の乳幼児の情報交換・育児支援活動				初めて利用される方がはぐくみだよりの情報を見て足を運んでくれている。児童館利用につながった。
	学区社協	毎月、児童館だよりを届けている。乳幼児向け事業に協力いただく。				まつり等児童館行事に協力いただく事で、連携を深めることが出来た。
	百々小学校PTA運営委員会	百々児童館こどもまつり、新春まつり当日の運営に協力いただく。				
	山科少年補導委員会百々支部	百々児童館こどもまつり、新春まつり当日の運営に協力いただく。				
	百々地域女性会	百々児童館こどもまつり、新春まつり当日の運営に協力いただく。				
	百々学区老人クラブ連合会	百々児童館こどもまつり、新春まつり当日の運営に協力いただく。				児童館の敬老会にご参加いただき、子どもたちと異世代交流ができた。
	百々民生児童委員協議会	乳幼児行事、ひまわりまつり、百々児童館こどもまつり、新春まつりなどに協力いただく。				まつり等児童館事業に協力いただく事で連携を深める事ができた。
百々学区社会福祉協議会	乳幼児事業の後援、ひまわりまつり、百々児童館こどもまつり、新春まつり当日の運営に協力いただく。				まつりの会議を開くことで連携を深めることができた。	

地域基本生活促進機

		組織名称	構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
地域 基本 活動	(4)児童館を支える地域組織作り	百々児童館運営協力会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 老人クラブ連合会 百々小学校PTA運営委員会 百々小学校 山科中学校 百々学区おやじの会 百々児童館		年2回	第1回運営協力会 ・運営協力会の詳細説明 ・会則の確認 ・役割分担など 第2回運営協力会 ・アンケート結果の報告 ・児童館および学童クラブ事業の報告 ・次年度の活動計画について	第1回目は6月に会議を開き、運営協力会の詳細説明、会則の確認、今年度の行事予定などを報告し、児童館や各協力団体が互いに連携をとり、協力し合える関係を築く場となった。第2回目は新春まつりアンケート結果、事業報告、次年度の活動計画について報告した。利用者共通アンケートの報告	
		ひまわりまつり実行委員会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 山科少年補導委員会百々支部 京都市立百々小学校 まんいんじこども園 学童クラブ保護者会 百々児童館		年1回	第1回実行委員会 ・ひまわりまつりの詳細説明／役割分担など紙面にて伝える。	今年度は地域団体の協力日程が続いたため紙面を郵送する。ひまわりまつり当日の円滑な進行をするための確認をすることにより、より連携、協力体制を深めることができた。	
		どじどうかんこどもまつり実行委員会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校PTA運営委員会 西野山花山町内会 百々児童館学童クラブ保護者会 百々学区おやじの会 百々児童館		年1回	・各機関の情報交換 ・地域の子どもについて ・こどもまつりの詳細説明	4年ぶりの開催と百々児童館創立40周年記念を合同で行い、10月に会議をもつ。当日の円滑な進行をするための確認をすることにより、より連携、協力体制を深めることができた。	
		百々学区子育て支援連絡会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 山科少年補導委員会百々支部 京都市立百々小学校 まんいんじこども園 学童クラブ保護者会 百々児童館		年2回	・各機関の情報交換 ・地域の子どもについて ・地域子育て支援ステーション事業の確認 ・2月のえほんをみんなで楽しもう（勉強会）	地域の関係機関と連携を取って情報交換をすることができた。また、地域子育て支援ステーション事業の確認をすることにより、連携、協力体制を深めることができた。2月には地域の育児力アップを目的として勉強会を実施した。読み聞かせの大切さや上手な読み聞かせの仕方を学ぶことができた。	
		新春まつり実行委員会	百々学区自治連合会 百々学区社会福祉協議会 百々民生児童委員協議会 百々地域女性会 山科少年補導委員会百々支部 百々小学校PTA運営委員会 西野山花山町内会 百々児童館学童クラブ保護者会 百々学区おやじの会 山科中学校生徒会 百々児童館		年1回	第1回実行委員会 ・新春まつりの詳細説明 ・役割分担など	新春まつり当日の円滑な進行をするための確認をすることにより、より連携、協力体制を深めることができた。	
推進 活動	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題		
		水道の使用		地蔵盆	花山稲荷町内会	円滑な関係作りの一端を担っている。		
	(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
		幼児クラブアンケート	意見を次回の計画に生かすことが目的	クラブ登録の保護者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	次年度の幼児クラブのプログラムに反映する。	
		子育てサロンアンケート		乳幼児親子の参加者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	保護者のニーズが分かるのでよかった。	
		児童館利用者共通アンケート		学童クラブ児童と保護者。児童館の利用者	京都市社会福祉協議会	アンケート用紙の配布・回収	児童館利用者のニーズを理解し、次年度に反映する。	
		ひまわりまつりアンケート		要員である学童クラブ保護者・地域の諸団体・ひまわりまつり参加者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	参加者のニーズがわかった。次年度のプログラムに反映し、熱中症対策を考える。	
どじどうかんこどもまつりアンケート	要員である学童クラブ保護者・地域の諸団体・どじどうかんこどもまつり参加者	百々児童館		アンケート用紙の配布・回収	参加者のニーズをわかり、次年度のプログラムに反映する。			
新春まつりアンケート	要員である学童クラブ保護者・地域の諸団体・新春まつり参加者	百々児童館	アンケート用紙の配布・回収	参加者のニーズがわかり、次年度のプログラムに反映する。				

(令和5)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市百々)児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
報	児童館だより	月1回	百々小学校、百々学区町内会、民生児童委員、山階南小学校、まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室	百々小学校は全児童配布。山階南小学校は校長先生に配布。各町内会は地域回覧。まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室に直接配布。HPにて広報。	館行事、前月の活動報告等掲載	・年間を通して、地域回覧や新規来館につながった。また、おたよりやホームページを見て、児童館事業への自由来館児童の参加を増やすことができた。
	児童館だより（乳幼児版）	月1回	百々学区町内会、民生児童委員、まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、柳辻こども園、なかとみこども園、東山幼稚園、はぐくみ室	各町内会は地域回覧。まんいんじこども園、京都市鏡山保育所、西野山保育園、なかとみこども園、柳辻こども園、東山幼稚園、はぐくみ室に直接配布。HPにて広報。	乳幼児向けの行事、前月の活動報告等掲載	・年間を通して、地域回覧やはぐくみ室、ホームページなどの広報により、幼児クラブ・ひろばへの新規来館につながった。
	行事のポスター	随時	児童館の利用者	児童館に掲示。	館行事・子育て情報の掲載。	・児童館に掲示することにより日頃の利用者に参加を促すことができた。
	乳幼児クラブ・ひろばの案内	随時	乳幼児の保護者	乳幼児の保護者に配布。館前の掲示板に掲示	幼児クラブ・乳幼児ひろばの情報の掲載。	幼児クラブ・乳幼児ひろばへの問い合わせもあり、新規来館に繋がった。
	ホームページ	随時	児童館の利用者	ホームページに掲載	乳幼児親子向けや小学生向けの行事や、児童館の情報掲載。	新規来館や行事への参加募集を増やすことができた。
活						
動						